

平成24年度 第1回予防接種運営委員会 会議録

日 時	平成24年6月26日(火) 13:30~15:00
会 場	芦屋市保健福祉センター 会議室
出席者	委員長 鈴木 紀元 委員 北井 明 委員 河盛 重造 委員 安元 兆 委員 津村 直行 委員 北野 章 事務局 北口 泰弘 瀬戸山 敏子 田中 佐代子 井上 登代美 久保田 千尋
事務局	健康課
会議の公表	公 開
傍聴者数	0 人

1 会議次第

(1) 委嘱状及び任命書の交付

(2) 議題

議題1 委員長選出

議題2 平成23年度予防接種事業実績について

議題3 平成24年度予防接種事業実施計画について

- ・ BCGの個別接種化について
- ・ 兵庫県における定期予防接種の広域的实施について
- ・ 予防接種事業説明会

議題4 平成24年度検討事項について

- ・ ポリオ不活化ワクチンについて

議題5 その他

2 提出資料

資料1 平成23年度予防接種事業実績について(第7章 感染症対策・予防接種)

資料2 単独の不活化ポリオワクチンの導入について

3 審議経過

(開会)

委嘱状及び任命書の交付・委員長に鈴木委員を選出。

鈴木委員長挨拶

(鈴木委員長) それでは議題に入ります。議題2平成23年度予防接種事業実績について事務局から説明してください。

(事務局久保田) 平成23年度予防接種事業実績について説明いたします。

(資料1)の説明

(鈴木委員長) ただいまの報告について何かご質問等がありますか。

(河盛委員) 質問ではないですが、現在予防接種の説明に『予防接種と子ども健康』を使用しているのでしょうか。最近保護者からの質問で気づいたのですが、ヒブワクチンの

問診票の最後の項目に「医師の診察・説明（牛成分の使用に関する説明）を受けましたか。」とあるが、『予防接種と子どもの健康』にはどこにも記載がない。メーカーのヒブワクチン説明書には書いてある。しかし『予防接種と子どもの健康』にはどこにも記載がなく、奇異な印象を受ける。文献を調べると、イギリスにおいては、ヒブワクチンについてこの説明をしてはいけないとなっている。無用な混乱を避けるため、説明をしないほうが良いというような考え方をしている。これはどちらかに整合性をもたせるべきではないか、しないのならば問診票から文言を除くべきだし、するのならば『予防接種と子どもの健康』に文言が記載されていなければならない。

（鈴木委員長） 国の問診票はワクチンの添付文書を反映してますよね。

（河盛委員） ひょっとしたらメーカーの添付文書には書いてあるのかも。

（事務局久保田） メーカーの添付文書には書いてありました。

（河盛委員） メーカーの添付文書にはもっと詳しく説明されているはずなのですよ。ところが『予防接種と子どもの健康』には記載されていない、書かないなら書かないほうが良いのではないか。

（事務局瀬戸山） メーカーからいただいた問診票を活用しています。

（河盛委員） 問診票から文言を抜いてしまったほうが良いのではないか。国が作った『予防接種と子どもの健康』に記載がないならね。

（鈴木委員長） 難しいね。国そのものが『予防接種と子どもの健康』を作っているわけではないからね。

（河盛委員） ほぼ国ですよ。

（鈴木委員長） 別組織ですね。実際はどうなのかな、このワクチンを作成するのに細胞を培養するとき、子牛の血清を少し入れるんです。それを最終出来上がったワクチンまで持っていったら、何百万分の一か測定に引っかかるかどうかくらいやね。実際には無視できる、経験上は無視できても、理論上は無視できないから、こう記載されるでしょうね。

（鈴木委員長） これまでの話を勘案して、それでもこのままやってみようというのであればそれでもいいですが、しかし市民から質問されるとね。

（河盛委員） 書いてあったら質問される可能性はあるしね。

（事務局北口） 他市がどのように扱っているか調べてみます。今後定期接種化になる予定もあるようなので、そうすると国が新しく問診票を示すかもわかりません。今年度中はこのまま使用させていただいて、来年度に向けて検討していきます。

（鈴木委員長） はい、それではそのようにお願いします。では次に行ってよろしいでしょうか。3番目平成24年度予防接種事業実施計画について、まずBCGの個別接種化についてよろしく願いいたします。

（事務局久保田） 平成24年4月からBCG接種が個別になっています。実績は4月69件、5月45件でした。

（鈴木委員長） はい、ありがとうございました。これは生ワクチンの昨年と比較してどうですか。

（事務局瀬戸山） 昨年までは、毎月1回実施しておりました、おおむね95%前後の接種率でした。ヒブワクチンや小児用肺炎球菌ワクチンが2か月から接種できることも影響して、接種時期が遅くなっているように感じています。

（鈴木委員長） 生ワクチンで、4週間間隔をとらなければならない事がネックなのですね。はい、では次に、広域的予防接種の実績について。

（事務局久保田） 平成24年4月から実施しております。現在、1名のかたが接種を受けられ

ました。3名のかたが申請中で、今後神戸市で接種予定となっております。

(鈴木委員長) はい、ありがとうございます。これについてはいかがでしょうか。数があまりないから問題ないですね。はいそれでは、予防接種事業説明会について。

(事務局瀬戸山) 23年度の実績を踏まえて医師会と相談させていただいた結果、9月1日からの不活化ポリオワクチンの接種も始まりますので、改めて予防接種事業の説明会を8月21日午後1時半から医師会医療センターで行われる運びとなりました。講師の先生は鈴木先生にお願いしております。予防接種の大きな事故はないのですが、小さなことでもそれが事故につながりかねないということがありますので、説明会をお願いしました。3種混合やその他多種の予防接種を実施していただいている医療機関には必ず参加いただき、説明会に参加された医療機関と委託契約をするような意気込みで、実施したいと考えております。どうかよろしくお願いたします。

(鈴木委員長) はい、ありがとうございます。それでは、4番平成24年度検討事項について、ポリオ不活化ワクチンについてお願いします。

(事務局久保田) 別添資料になります。

資料2の説明

(鈴木委員長) 何かご質問はありますか。

(河盛委員) 問題となるのは4回目が接種できないことを知らないと思うのですが、どのように周知されるのですか。海外で受診歴のある場合や今までに輸入ワクチンで接種のかたへの対応について特に問題となる。

(鈴木委員長) それは厚労省から保護者と同意のもとできると出ています。信頼のできる国のワクチンであれば、それを1回と考えていいわけです。

(河盛委員) 原則としてはというようなものを示しておかないと、トラブルになる可能性が大きいので。

(事務局瀬戸山) そうですね。今承認されているのは初回3回まで、4回目については来年1月くらいに承認されると言われています。

(鈴木委員長) たぶん大丈夫なのに、もしものことを考えて待たされている。たぶん大丈夫です。

(事務局瀬戸山) もうひとつ大切なことが、母子健康手帳のポリオの記録欄が現状では2回分しかありません。平成24年交付分も2回分の記録欄しかありません。4回接種の証明をする際に見落としを防ぐためにも、できるだけポリオの欄へ記録をお願いできませんでしょうか。

(河盛委員) 生で1回飲んでおられるかたが困るのです。生ワクチンの記録が大きいから、難しいです。

(鈴木委員長) しかし、今の状態では無理でしょう。

(北井委員) 4回目の接種ができないことを周知しなければならないのに、あわせて4回分の記録を一緒にするようなお願いをしたら、医療機関が混乱するでしょう。案内の方法を考えなければならないと思います。

(鈴木委員長) 6月1日に国が都道府県向けに行った説明会で、4回目の承認はいつになるかという質問に対して、わからないと答えている。

(北井委員) 内科で実施している医療機関が、今の内容に精通しているかといわれると、かといってできませんといわれるのも困るでしょうから、わかりやすい案内または困ったときの対処等明らかにしてください。

(鈴木委員長) 他に何かありますか？では次、5番目のその他。

(河盛委員) ポリオワクチンの注文は8月31日でよいのでしょうか。

- (事務局瀬戸山) はい発売日がそのようになっています。
- (河盛委員) BCGワクチンの注文は4月1日にしなければならなかったので質問しました。
- (事務局北口) どうなるかわかりませんね。
- (北井委員) 老婆心ながら、実績報告で接種率が100%を超えるときはその注釈についてどこかに入れておかないと、おかしいと指摘を受けますよ。
- (事務局北口) 注釈を入れます。冊子にするときには検討します。
- (鈴木委員長) それでは・・
- (事務局瀬戸山) 議題にはないのですが、平成23年度健康被害の報告は1件もありませんでした。24年度についてはBCG後のコッホ現象が起きたということで、芦屋病院を紹介し対応していただきました。顛末はまだ把握できていませんが、小児科の森田医師に見ていただけるとのことでした。
- (河盛委員) また顛末を報告してください。
- (事務局瀬戸山) お聞きしておきます。
- (事務局北口) 今回は、来年2月上旬でお願いしたいと存じます。
- (鈴木委員長) それでは終了とします。

【閉 会】